



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/midorigaoka/>

E-mail : y2midori@edu.city.yokohama.jp

令和5年度 第3号 令和5年6月29日(木)

横浜市立緑が丘中学校

〒227-0051

横浜市青葉区千草台 50-1

Tel 045-973-5375

夏至に思う

校長 島山 伸正

6月20日は天気にも恵まれ、無事に体育祭を終えることができました。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

さて、この日の翌日は一年で一番昼の時間が長い夏至でした。学級によっては夏至について話をされている先生もいたようです。この昼の時間ですが、同じ日本国内でも場所によって異なることは社会や理科の授業でも学習していると思います。では、いったいどこが一番長いのでしょうか？北海道札幌市、沖縄県那覇市でいえば、札幌市のほうが那覇市よりも1時間半以上長くなっています。夏の間は、北に行くほど長くなり、北極圏にある北欧などでは白夜（はくや・びやくや）といって、一日中日が沈まない（逆に南極では一日中日が昇らない、極夜）時期になります。わかっていてもなんだか不思議ですね。

私は9年ほど北海道の釧路市にて生活したことがあります。釧路市は日本の中では北で、さらには東にありますから、日の出はなんと3時44分、日の入りは19時6分、15時間38分もあり、朝は3時過ぎから明るくなりました。そんなことで、仕事前ですが6時30分まで朝野球大会の試合があって、地元企業チームに参加しました。ちなみに横浜市の日の出は4時28分、日の入りは19時1分です。同じ日本でも、まったく条件が違うので同じようにはできないかと思えます。人に与えられる時間は1日24時間で全く同じですが、置かれている条件は異なり平等ではありません。これは不公平なことだと思いますか？日の長さのみならず、人によって住んでいる場所、生まれた時代、仲間・・・それぞれ条件はみな異なります。その人にしか得られない経験が必ずあり、喜びややりたいことを見つける中で、それぞれに素敵な人生経験は得られます。

生徒の皆さん、この夏休み、今のあなたにしかできないことをぜひ見つけて、体験してほしいと思います。

第42回体育祭

6月20日(火)

スローガン【全緑夢走 ~No.1に駆け上がれ~】

今年度の体育祭は4年ぶりに全学年の保護者の方の参観が叶いました。梅雨の中ではありましたが、学年での練習や予行では天気にも恵まれて、生徒たちは一生懸命に体育祭に向けて準備をしていました。当日は、日差しが強くなることもなく、体育祭には絶好の天気となりました。

本番では、生徒の素早く、機転の利いた行動もあって、プログラムに余裕が生まれました。当日の時間変更もありましたが、保護者の皆様が温かく見守ってくださり大変感謝しております。

そして、3年生はクラスでの気合いの入ったパフォーマンスや一生懸命に綱を引く姿、2年生は台風のようにクラスが一つになって棒をつなぐ姿、1年生は背中渡りで、必死になって道をつくる姿に感銘を受けました。3年生は最後の体育祭になりましたが、悔いなくできたでしょうか？3年生の素晴らしい取組は1、2年生にとって最高の手本になったと思います。

4月から体育祭委員が発足して、体育祭に向けて準備を進めてきました。自分の役割を責任をもって果たすことができました。練習の時にはクラスを中心に立ち、クラスを引っ張り、盛り上げるなど目覚ましい活躍でした。

P T A役員や保護者の皆様のご理解とご協力があって、無事に第42回の体育祭を終えることができました。誠にありがとうございました。

体育祭担当職員 帽子山 佳哉